



テレビ用スピーカー(サウンドバー)

PSB-1

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。

安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。



警告

- 必ず AC100V(50Hz/60Hz) の電源で使用してください。異なる電源で使用するとう火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源コードを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となります。また、電源コードは他の機器には使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物を乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ただちに使用を中止して販売店に交換をご依頼ください。
- 水に入れたり、濡らさないでください。また、水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。火災や感電の原因となります。グリル部を固く絞った布で水拭きすることは問題ありません。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常が起きた時は、ただちに電源コードをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。
- 長時間使用しない時や落雷の恐れがある時は、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。また、雷が鳴り出したら金属部分や電源プラグには触れないでください。



注意

- 以下のような場所に設置しないでください。火災や故障の原因となります。
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・温度の特に高い場所、または低い場所
 - ・湿気の多い場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・振動の多い場所
 - ・塩害や腐食性ガスが発生する場所
- 機器の移動は、電源コードやテレビとの接続ケーブルを全て外した上で行ってください。接続したまま移動すると、けがや故障、ケーブル破損の原因となります。
- 配線は、全ての機器をコンセントから抜き、取扱説明書に従って正しく行ってください。接続したまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- 濡れた手で、電源コードやテレビとの接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。
- 大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。
- 過大入力を加えないでください。また、長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となります。
- 固定金具の金属のエッジでけがをすることがあります。十分気をつけてください。
- 固定金具の固定部位の締め付けはしっかり行ってください。落下によるけがや器物破損の原因となります。
- 壁に取り付ける際は、重量に耐えられる強度があるか確認してください。また、壁や台の取り付け部が劣化すると、落下などの原因となります。定期的に点検をしてください。

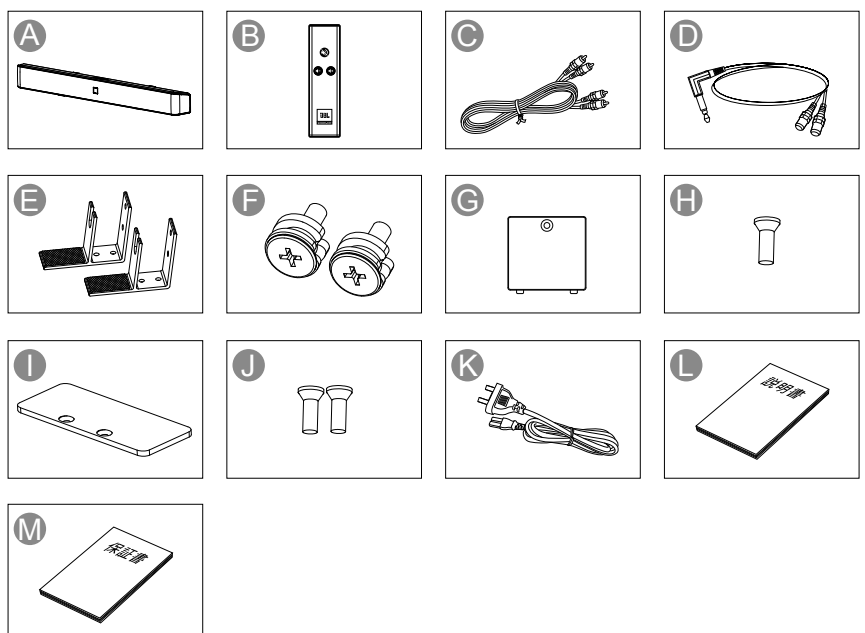
目次

安全上のご注意	P.02
目次	P.03
梱包内容の確認	P.03
各部の名称と機能	P.04
設置方法	P.06
接続 / 設定方法	P.08
赤外線信号の学習機能	P.11
仕様	P.12

梱包内容の確認

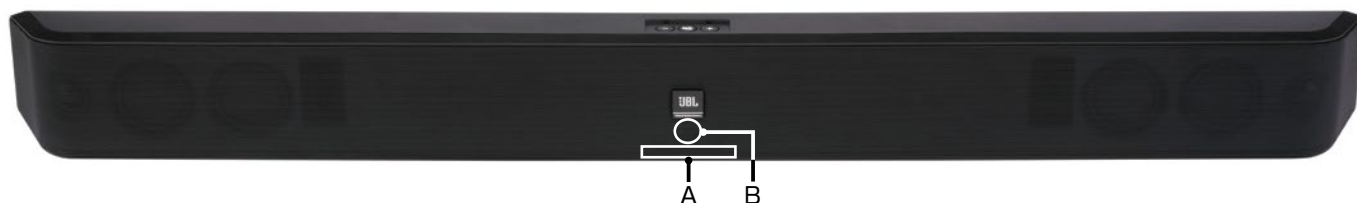
パッケージに次の物が入っていることを確認してください。

- A. 本機
- B. リモコン(動作確認用電池 CR2025 付属)
- C. RCA → RCA ケーブル(約1m)
- D. 3.5mm ステレオミニ → RCA ケーブル(約20cm)
- E. 固定金具 × 2
- F. 設置ねじ × 2
- G. 背面操作防止プレート
- H. 背面操作防止プレート固定ねじ
- I. 上面操作防止プレート
- J. 上面操作防止プレート固定ねじ × 2
- K. 電源コード
- L. 和文取扱説明書(本書)
- M. 保証書

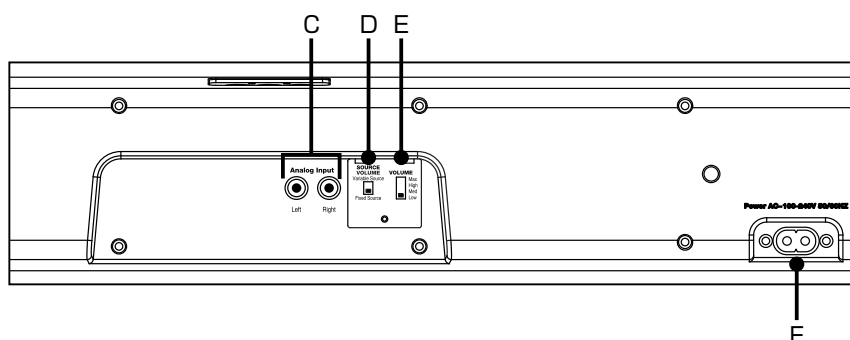


各部の名称と機能

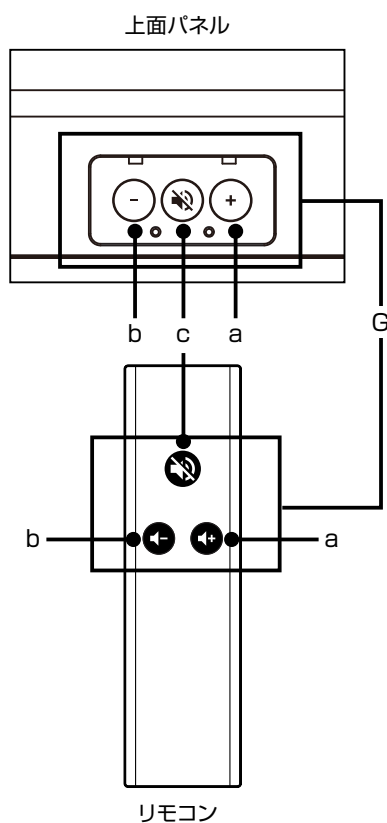
前面パネル



背面パネル



上面パネル / リモコン



A. LED インジケーター

動作状況や設定状態を表示する LED インジケーターです。以下のように点灯 / 点滅します。

自動スタンバイ機能動作時 (電源投入時) :

左端の LED がオレンジ色に点灯。

通常動作時、ミュート時 : 左端の LED が緑色に点灯。

音量操作時 :

SOURCE VOLUME スイッチが Variable Source に設定されている場合

全ての LED が緑色に 2 回点滅。

SOURCE VOLUME スイッチが Fixed Source に設定されている場合

音量の設定値に合わせて、最小時は 1 個、最大時は 10 個の LED が緑色に点灯。

ミュート操作時 :

SOURCE VOLUME スイッチが Variable Source に設定されている場合

全ての LED が緑色に 2 回点滅。

SOURCE VOLUME スイッチが Fixed Source に設定されている場合

全ての LED が緑色に 1 回点滅。

備考

- ・自動スタンバイ機能は、約 60 分間音声入力がない場合に自動的に待機状態に移行する機能で、消費電力を抑えることができます。待機状態時に音声入力を検知すると、自動的に通常動作に復帰します。
- ・電源投入時は自動スタンバイ機能が ON の状態で起動します。
- ・SOURCE VOLUME スイッチが Variable Source に設定されている場合、音量やミュートの操作は無効です。音量は変化せず、ミュートもかかりません。

B. リモコン受光部

リモコンの赤外線信号の受光部です。音量操作信号やミュート信号を受光します。

C. Analog Input 端子

RCA の入力端子です。付属のケーブルを使ってテレビのアナログ音声出力端子、またはヘッドホン端子と接続してください。

D. SOURCE VOLUME スイッチ

音量の調整をテレビで行うか本機で行うかを選択するスイッチです。テレビで音量を調整する場合は Variable Source に、本機で音量を調整する場合は Fixed Source に設定します。テレビの仕様によって最適な調整方法が異なります。詳細は P.08 の「接続 / 設定方法」をご覧ください。

注意

- ・SOURCE VOLUME スイッチと VOLUME スイッチの設定後は、背面操作防止プレートを取り付けてください。使用者がスイッチに触れられる状態になっていると、設定を変更されてしまう可能性があります。

備考

- ・SOURCE VOLUME スイッチが Fixed Source に設定されている場合、自動音量リセット機能が有効になり、60 分間音声入力検出されない自動的に音量設定を最大音量の 30% にリセットします。

E. VOLUME スイッチ

音量の上限を設定するスイッチです。スイッチの位置によって以下のように音量を制限できます。

スイッチの位置	音量の上限
Max	最大音量
High	最大音量の 90% に制限
Med	最大音量の 80% に制限
Low	最大音量の 60% に制限

注意

- ・SOURCE VOLUME スイッチと VOLUME スイッチの設定後は、背面操作防止プレートを取り付けてください。使用者がスイッチに触れられる状態になっていると、設定を変更されてしまう可能性があります。

F. 電源端子

付属の電源コードを接続する端子です。

G. 音量操作ボタン

音量調整を行うボタンです。以下のように動作します。

- 音量を上げます。
- 音量を下げます。
- 音をミュートします。

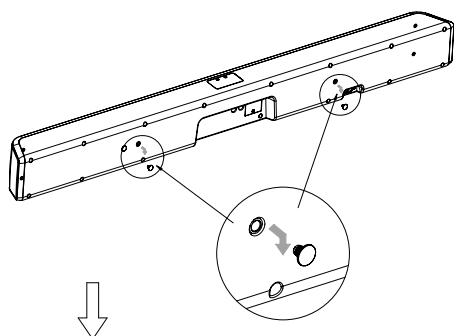
注意

- ・SOURCE VOLUME スイッチが Variable Source に設定されている場合、音量やミュートの操作は無効になります。Variable Source に設定している場合は、使用者が混乱しないように上面操作防止プレートを取り付けて音量操作ボタンを隠してください。

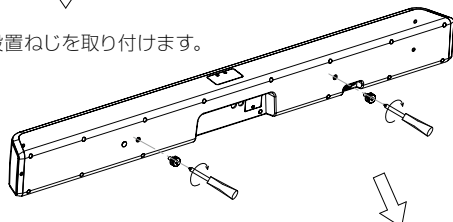
設置方法

壁に設置する場合

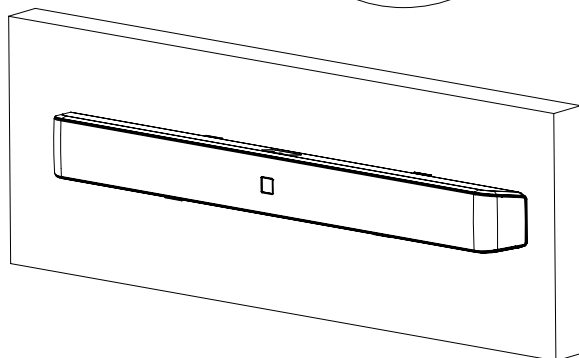
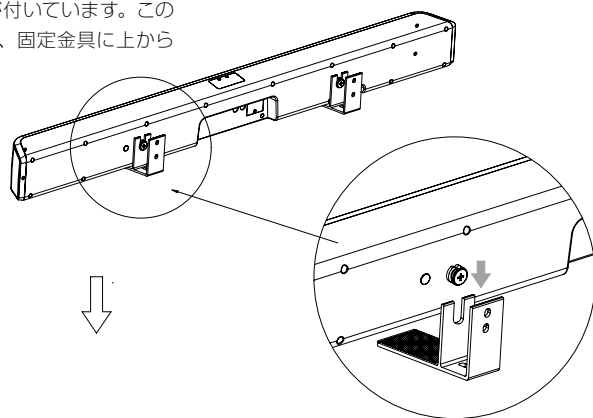
- ・背面の設置ねじ取付ねじ穴のゴム製力バーを外します。
- ※左側には2つのねじ穴があります。固定金具を取り付ける壁の構造に応じてどちらか一方をお使いください。



- ・ねじ穴に設置ねじを取り付けます。



- ・設置ねじには切れ目の入ったゴムが付いています。このゴムの切れ目が上を向くようにして、固定金具に上から差し込みます。

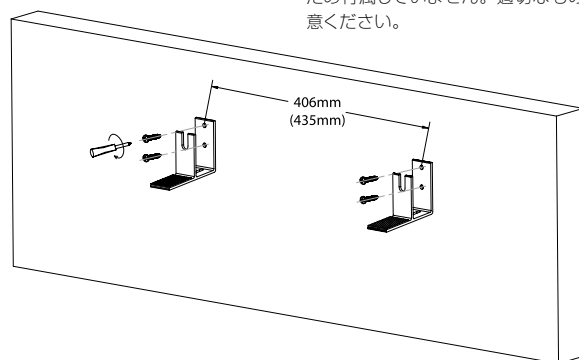


- ・固定金具を壁に固定します。

- ※2つの固定金具のねじ穴の間隔が、406mm(外側の設置ねじ取付ねじ穴を使用するときは435mm)になるように固定してください。

備考

- ・壁に固定金具を取り付けるためのねじは、設置面の素材によって選定する必要があるため付属していません。適切なものをご用意ください。



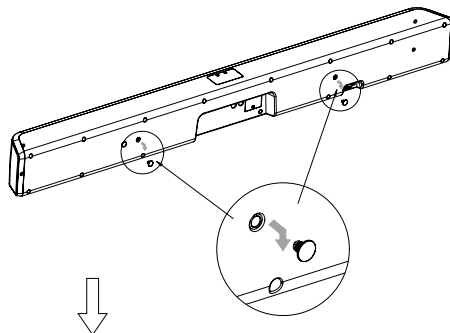
台に設置する場合

- ・背面の設置ねじ取付ねじ穴のゴム製カバーを外します。
- ※左側には2つのねじ穴があります。固定金具を取り付ける台の構造に応じてどちらか一方をお使いください。

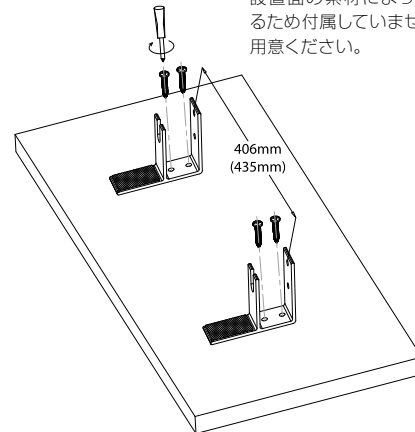
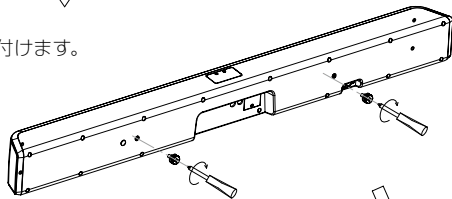
- ・固定金具を台に固定します。
- ※2つの固定金具のねじ穴の間隔が、406mm(外側の設置ねじ取付ねじ穴を使用するときは435mm)になるように固定してください。

備考

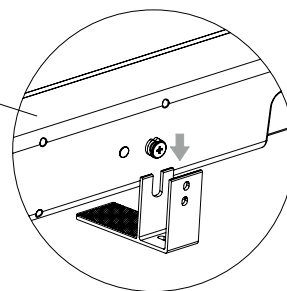
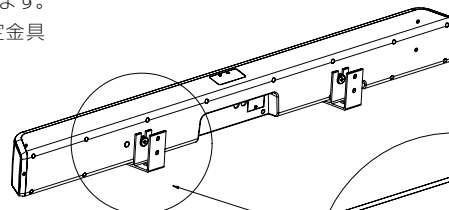
- ・台に固定金具を取り付けるためのねじは、設置面の素材によって選定する必要があるため付属していません。適切なものをご用意ください。



- ・ねじ穴に設置ねじを取り付けます。



- ・設置ねじには切れ目の入ったゴムが付いています。このゴムの切れ目が上を向くようにして、固定金具に上から差し込みます。



接続 / 設定方法

本機はヘッドホン端子（ステレオミニジャック）またはテレビのアナログ音声出力端子（ステレオ RCA/ ステレオミニジャック）に接続します。以下の表の通り、どちらの端子に接続するかによって、それぞれメリット/ デメリットがあります。状況に応じて選択してください。



注意

・ヘッドホン端子（ステレオミニジャック）とアナログ音声出力端子（ステレオ RCA/ ステレオミニジャック）のどちらもないテレビとは接続できません。

オススメ



	テレビのヘッドホン端子と本機を接続	テレビのアナログ音声出力端子と本機を接続
メリット	接続 / 設定の手順が少なく簡単	本機の全ての機能を利用できる
デメリット	本機の自動音量リセット機能（テレビ起動時の初期音量設定機能）が利用できない。	接続 / 設定の手順が多い



P.09 に従って
接続 / 設定を
行ってください。



P.10 に従って
接続 / 設定を
行ってください。

テレビのヘッドホン端子と本機を接続する場合の接続 / 設定方法

備考

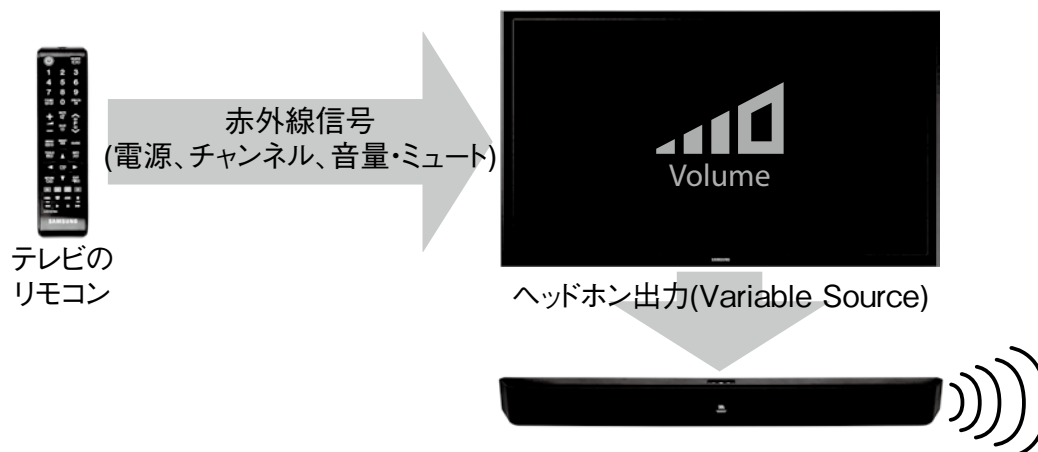
- ・高音質な音声をお楽しみいただくために、テレビの内蔵スピーカーはオフにしてください*。
 - ・テレビのヘッドホン端子は音量を可変（テレビの音量を変えると変化する）にしてください*。
 - ・この方法では、本機の自動音量リセット機能は利用できません。
 - ・本機の音量上限の設定機能を使用する場合は、テレビに搭載されている同様の機能はオフにしてください*。
- *設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

1. 本機の SOURCE VOLUME スイッチを Variable Source に設定します。
2. テレビの電源を入れ、音量を最小にします。
3. テレビと本機の電源を切り、テレビのヘッドホン端子と本機の Analog Input 端子を付属の 3.5mm ステレオミニ→RCA ケーブルと RCA → RCA ケーブルを繋いだケーブルで接続します。
4. テレビと本機の電源を入れます。
5. 必要に応じて、以下に従って音量の上限の設定を行ってください。
 - a. 本機の Volume スイッチを "Low" に設定します。
 - b. テレビの音量を最大まで上げます。
 - c. さらに大きな最大音量が必要な場合は、Volume スイッチを "Med" に設定します。それでも足りない場合は "High" または "Max" に設定してください。
 - b. 通常使用する音量に下げます。

△注意

- ・小さな音量で本機を使用していると、音が止まってしまうことがあります。これは本機が入力信号を感知できずに、無音状態と判断し、スタンバイモードに切り替わってしまうためです。小さな音量で使用する場合は Volume スイッチを "Low" に設定して、小さい音量で使用しても、信号を感知できるようにしてください。

テレビのヘッドホン出力と本機を接続した場合のイメージ



テレビのアナログ音声出力端子と本機を接続する場合の接続 / 設定方法

備考

- ・高音質な音声をお楽しみいただくために、テレビの内蔵スピーカーはオフにしてください*。
- ・テレビのアナログ音声出力端子は音量を固定 (テレビの音量を変えても変化しない) にしてください*。
- ・この方法では、本機の自動音量リセット機能が有効になります (自動音量リセット機能については、P.05 の「SOURCE VOLUME スイッチ」の項目をご覧ください)。

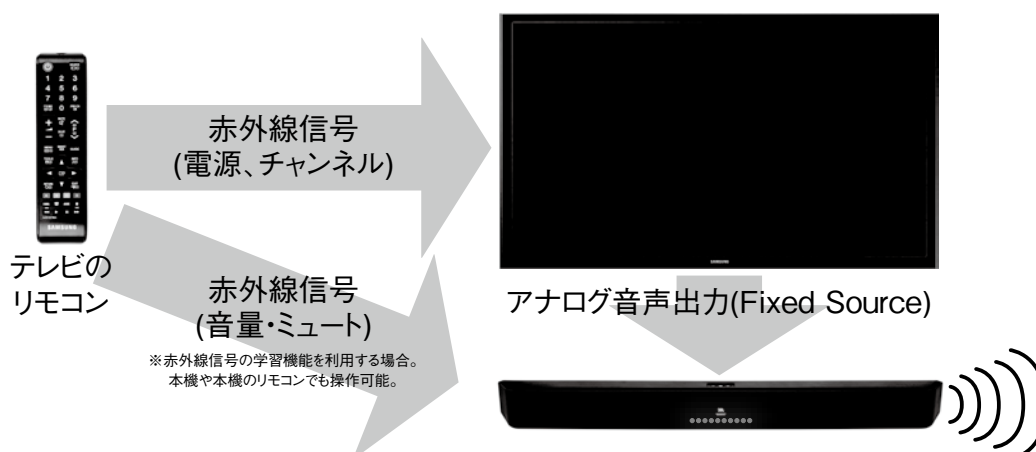
*設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

1. 本機の SOURCE VOLUME スイッチを Fixed Source に設定します。
2. 本機の電源を入れ、音量を最小にします。
3. テレビと本機の電源を切り、テレビの音声出力端子と本機の Analog Input 端子を付属のケーブルで接続します (テレビのアナログ音声出力端子が RCA の場合は RCA → RCA ケーブルを、3.5mm ステレオミニの場合は 3.5mm ステレオミニ → RCA ケーブルと RCA → RCA ケーブルを繋いだケーブルを使用してください)。
4. テレビと本機の電源を入れます。
5. 必要に応じて、以下に従って音量の上限の設定を行ってください。
 - a. 本機の Volume スイッチを "Low" に設定します。
 - b. 本機の音量を最大まで上げます。
 - c. さらに大きな最大音量が必要な場合は、Volume スイッチを "Med" に設定し本機の音量を上限まで上げます。それでも足りない場合は "High" または "Max" に設定し、本機の音量を上限まで上げてください。
 - b. 通常使用する音量に下げます。
6. 本機をテレビのリモコンで操作する場合は、P.11 の「赤外線信号の学習機能」に従ってリモコンの学習を行ってください。

注意

- ・工場出荷時の状態では、本機の音量 / ミュートの操作は本機の操作ボタンまたは専用リモコンで行えます。「赤外線信号の学習機能」によってテレビのリモコンを本機に学習させると、専用リモコンは使用できなくなります。再び専用リモコンを使用する場合は、P.11 の「学習機能のリセット」に従って学習機能のリセットを行ってください。

テレビのアナログ音声出力と本機を接続した場合のイメージ



赤外線信号の学習機能

テレビのアナログ音声出力端子と本機を接続している (SOURCE VOLUME スイッチを Fixed Source に設定している) 場合は、赤外線信号の学習機能によってテレビのリモコンで本機の音量やミュートが操作できます。学習方法や学習機能のリセット方法は以下の通りです。

赤外線信号の学習方法

1. 本機が通常の動作状態 (左端の LED インジケーターが緑色に点灯している状態) で、SOURCE VOLUME スイッチが Fixed Source になっていることを確認します。
2. 赤外線信号の学習モードに切り替えるため、本機の「音量アップボタン + 音量ダウンボタン + ミュートボタン」を同時に 7 秒以上押し続けます。全ての LED インジケーターが 2 回点滅したらボタンを離してください。
3. テレビのリモコンを本機から 50cm 程度離し、本機のリモコン受光部に向け、以下に従って学習させます。

音量アップの学習

- a. 本機の音量アップボタンを 1 回押します (全ての LED インジケーターが 1 回点滅します)。
- b. テレビのリモコンの音量アップボタンを 1 回押します (全ての LED インジケーターが 1 回点滅します)。

音量ダウンの学習

- a. 本機の音量ダウンボタンを 1 回押します (全ての LED インジケーターが 1 回点滅します)。
- b. テレビのリモコンの音量ダウンボタンを 1 回押します (全ての LED インジケーターが 1 回点滅します)。

ミュートの学習

- a. 本機のミュートボタンを 1 回押します (全ての LED インジケーターが 1 回点滅します)。
- b. テレビのリモコンのミュートボタンを 1 回押します (全ての LED インジケーターが 1 回点滅します)。

4. 通常動作に戻すため、本機の「音量ダウンボタン + 音量アップボタン」(ミュートボタンは押さない) を同時に 7 秒以上押し続けます。全ての LED インジケーターが 2 回点滅したらボタンを離してください。

備考

- ・学習モード中になにも操作せずに約 30 秒が過ぎると、自動で通常動作に戻ります。
- ・学習モード中は音量やミュートの操作が無効になります。
- ・学習リモコンを使用する場合は、以下の IR コードを登録してください。詳細については、学習リモコンの取扱説明書をご覧ください。

コマンド	コード
ミュート	8070H C1
音量アップ	8070H C7
音量ダウン	8070H C8

学習機能のリセット方法

1. 本機の「音量アップボタン + 音量ダウンボタン」を同時に 1 回押します。
2. 本機の「ミュートボタン」を 1 回押します。
3. 1 と 2 のステップをさらに 4 回繰り返します (計 5 回)。
4. 全ての LED インジケーターが 4 回点滅し、学習機能が工場出荷時の状態にリセットされます。

備考

- ・リセットの操作中は LED インジケーターは反応しません。
- ・学習させたテレビのリモコンで操作して、本機が動作しなければ正しくリセットされています。



仕様

周波数レンジ (-10dB)		42Hz ~ 20kHz
最大音圧レベル (1m)		94dB SPL
ドライバー構成	LF	2 インチ (51mm) × 4
	HF	0.75 インチ (19mm) × 2
クロスオーバー周波数		4.3kHz
パワーアンプ		20W × 2、Class D
入力	端子	ステレオ RCA
	感度 (-10dBV、1m)	85dB SPL
電源		AC100V、50/60Hz
消費電力 (1/8 出力、ピンクノイズ)		2 W
寸法 (W × H × D)		900 × 90 × 69mm(除突起部)
質量		1.9kg
付属品		リモコン (動作確認用電池 CR2025 付属)、RCA → RCA ケーブル (約 1m)、3.5mm ステレオミニ → RCA ケーブル (約 20cm)、固定金具 (金具 × 2、設置ねじ × 2)、背面操作防止プレート (プレート、固定ねじ)、上面操作防止プレート (プレート、固定ねじ × 2)、電源コード、和文取扱説明書 (本書)、保証書

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。



<https://www.hibino.co.jp/>
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部
〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70
TEL: 03-5419-1550 FAX: 03-5419-1565
札幌オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三條1-1-20
TEL: 011-640-6770 FAX: 011-640-6776

大阪ブランチ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL: 06-6339-3890 FAX: 06-6339-3891
名古屋オフィス
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-4-26
TEL: 052-589-2712 FAX: 052-589-2719

福岡ブランチ
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6
TEL: 092-611-5500 FAX: 092-611-5509